

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年7月7日

事業者名: 株式会社ARCH

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	自社およびクライアント企業のDX推進（ペーパーレス化）による環境負荷の低減		⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を	LINE顧客管理システムの構築やウェブサイト制作、クラウドツールの導入支援を通じて、自社および取引先企業の業務デジタル化を推進。紙の書類やパンフレットの削減（ペーパーレス化）による資源保護に貢献している。	指標	自社が支援・構築を行うITツール・DXソリューションの年間導入件数
					目標	2028年までに、企業のペーパーレス化に直結するDX・LINE顧客管理システム等の導入を年間10件以上行い、地域のビジネスにおける環境負荷削減を牽引する。
社会	住宅再生事業による地域の空き家・中古住宅問題の解決と持続可能なまちづくり		⑪住み続けられるまちづくりを	テクノロジーと空間づくりの力を活かし、地域が抱える空き家や中古住宅の再生（リノベーション設計・企画）に着手。遊休資産に適正な管理と新しい価値を与え、地域の景観維持や防犯性向上に貢献している。	指標	地域における「住宅再生（空き家・中古住宅のリノベーション）の年間企画・設計件数」
					目標	2028年までに、年間1棟以上の住宅再生プロジェクトに携わり、テクノロジーとデザインで持続可能な住み続けられるまちづくりに貢献する。
経済	ITソリューションとモビリティ事業を通じた、地域企業の生産性向上と新しい価値の創造		⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	一見異なる「モビリティ、DX、Web制作」等の領域を「より良い仕組みをつくる仕事」として統合。地域企業に寄り添ったIT運用の伴走支援を行い、企業の生産性向上と持続的な経済成長の基盤を作っている。	指標	IT・モビリティ等の仕組みづくりを通じて、伴走支援（保守・運用サポート含む）を行う地域企業数
					目標	2028年までに、累計20社以上の地域企業へ寄り添い、DXや仕組みづくりの伴走支援を行うことで、地域経済の活性化と企業の労働環境改善をサポートする。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 「より良い仕組みをつくる」という理念のもと、自社のSDGs目標（企業のDX支援、住宅再生、地域企業への伴走）の進捗を定期ミーティングで共有する体制を構築しています。具体的には、 ①年度毎のDX導入件数や住宅再生の計画を策定（P） ②計画に基づきITツールの構築やリノベーションの設計を実行（D）。 ③定期的に「クライアントのペーパーレス化」や「地域企業への貢献度」の実績を評価・チェック（C） ④課題があれば開発プロセスや支援体制へ速やかに反映・改善（A）するPDCAサイクルを回し、組織一丸で取り組んでいます。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・会社窓口に取り組み内容を掲示している ・ホームページにてSDGsの取組を掲載予定（8月中） URL：https://arch-connect.co.jp/				